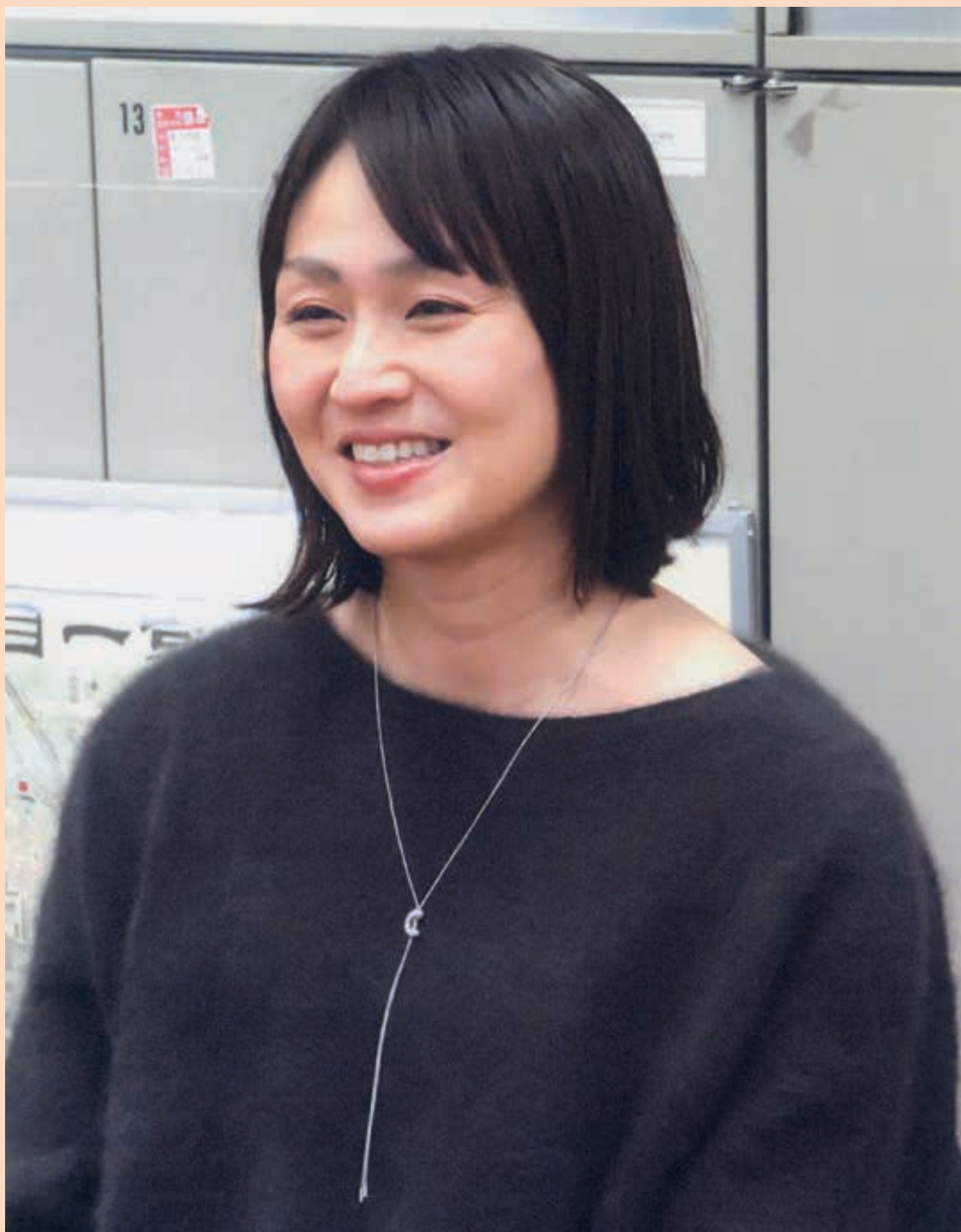


# 淡交会報

第96号  
2026

『ぼつちのアリは死ぬ』で話題の分子生物学者  
古藤 日子さん (98回) インタビュー



君子之交淡若水  
小人之交甘若醴  
莊子



## 淡交会は新たなステージへ

淡交会会長

宇田川雅之(70回)

昨年、淡交会会長に就任して、早いもので1年がとうとうとしています。昨年は、淡交会結成120周年記念特別演奏会では、すみだトリフォニーホール大ホールを埋め尽くすほどに観客がいつぱいになり、ベートーヴェン「第九」と両国高校「校歌五部作」を、淡交フィルハーモニー管弦楽団と淡交混声合唱団と有志で高らかに歌い上げました。多くの方からお褒めの言葉をいただき感無量です。

120周年記念事業として募金活動を実施した結果、特別演奏会を開催することができ、次なる事業として、結成以来の会員の皆様や恩師の先生方のご活躍を小史としてデジタルブックに取りまとめ、今年中のリリースを目指し日夜努力しているところです。

120周年記念事業には、同窓生の皆様、後援会、学校関係者、地域の皆様からの温かいご支援とご協力をいただき、時には困難な状況にも直面しましたが、皆様の熱意と結束力により乗

り越えられました。記念式典や祝賀会を通じて、母校の歴史と伝統を再認識し、多くの感動を共有することができ、同窓の絆の強さを改めて実感しました。

120周年という大きな節目の行事を終え、淡交会は新たなステージへと進みたいと思います。現在、淡交会は一般社団法人化を目指し準備を進めています。

多くの旧制ナンバースクールの同窓会が法人格を取得していることもあり、事業の拡充、財務・組織の安定性と透明性を確保し、より堅実な執行体制を構築するなどの点で、淡交会の法人化について検討すべきという意見があり、昨年の総会で「淡交会を近い将来に一般社団法人とする方向性を確認する」と決議しました。

法人設立時には作成が義務付けられている「定款」について、組織委員会を中心に法律専門家の意見を聞きながら、定款作成に取り組んでいるところ

です。令和9年度の総会での設立を目指しています。

もう一つが、評議員の活性化です。評議員の選出については現在、評議員は卒業時に選ばれた人たちがそのまゝの状態、実際の同期会開催等との接点がない場合も少なくありません。そこで、評議員については、改めて、淡交会執行部と連絡が取れ、同期会開催についてもリーダーシップの取れる人を念頭に、各期で選出をし直してもらう方向で検討しています。評議員が、同期会の開催を推進して、将来の理事候補の裾野が広がることを期待しています。

私は、まだまだ若輩者ではございますが、この1年で得た経験と皆様からの温かいご支援を胸に、誠心誠意、淡交会の発展のために精進して参ります。結びになりますが、同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍、そして母校の更なる飛躍を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

### おもな記事

令和8年度総会ご案内	3
令和8年新年会報告	4
淡交会役員名簿、デジタルブック	5
学校長ご挨拶	6
教職員の異動、進学状況	7
古藤日子さんインタビュー	8
生徒会・淡交会FORUM	10
母校の委員会活動	11
121回生二十歳のつどい	13
環境セミナー、環境委報告	15
あの先生は今、両国祭テーマ	17
淡交会の法人化について	18
各回だより	22
会員の著書紹介、寄稿	23
サークルだより	24
寄付金・募金等を頂いた方々	27
領家高子友の会発足のご案内	28
事業報告、決算報告	30
事業計画(案)、予算(案)	31
◇「母校の部活」休みました。	

### 表紙について

『ぼっちのアリは死ぬ』の著者・古藤日子さんにインタビューしました。孤立アリの着目して15年、東大大学院から産総研に移り研究を続けています。東大の学生時代は演劇サークルに入り、駒場小劇場で活動していたと聞いてびっくり。今もよく舞台を観に行くそうです。こんな若い素敵な研究者が活躍していることを知り、同窓生として嬉しく誇らしく思います。(写真は國馬隆史事務局局長撮影)

## 令和8年度 淡交会総会のご案内

今年の担当幹事は74回の皆さまです。下記の通り淡交会総会・講演会・懇親会を開催致しますので多数の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。Webの淡交PORTALにもご案内をアップしています。

- ◎日 時 令和8年7月26日(日) 16時開会(15時半受付開始予定)
- ◎会 場 アンフェリシオン 東京都江東区亀戸1-43-22 TEL03-5836-5111
- ◎出 席 懇親会出席の方は同封のハガキまたは右のQRコードにて事前にお知らせください。
- ◎懇親会費 8,000円 但し学生の方は3,000円 現旧職員の方はご招待申し上げます。  
入金〆切: 7月10日(金) 払込取扱票を使用しての納入をお願い申し上げます。  
懇親会当日欠席の場合、会費は返還致しませんので予めご了承ください。



総会申し込み

- ◎プログラム ○総会議事
- A) 令和7年度事業・決算報告案、令和8年度事業計画案・予算案
  - B) 「淡交会」の一般社団法人化について
  - C) デジタルブック等の淡交会結成120周年記念事業の報告

- 講演 作家・山口 恵以子さん(74回)

2013年、第20回松本清張賞『月下上海』

演題「書いて行く私」

1958年 東京都江戸川区生まれ

(区立松江小・松江四中を卒業)

1977年 東京都立両国高等学校卒業

1982年 早稲田大学文学部卒業

1993年 松竹シナリオ研究所修了

著書 『月下上海』(文春文庫)、『トコとミコ』(文春文庫)、『イングリ〜熱血人情高利貸〜』(ハルキ文庫)、『見てはいけない』(祥伝社文庫)、『給食のおばちゃん』(理論社)、『手配する女』(新潮社)、シリーズ『食堂のおばちゃん』『婚活食堂』『ゆうれい居酒屋』など



昨年の総会懇親会

- ◎懇親会 立食ビュッフェスタイルでお食事とお飲物をご提供する予定です。

【アトラクション】

- ・今井なおみ(74回、旧姓・兼松)さんのシャンソンや琴線に触れる曲を小林京子(同、旧姓・広田)さんのピアノでお楽しみ頂きます。
- ・スクラッチカードお楽しみ抽選会で盛り上がりましょう。

- 懇親会終了後に幹事の74回の皆様にはミニ同期会をご用意しております。

**総会・会費の払込取扱票は宛名台紙に印刷されています。**

- ◆キリトリ線から切り離してご使用ください。
- ◆氏名・住所が印刷されていますので便利です。
- ◆恐縮ですが、ご入金には7月10日(金)までをお願いします。



令和9年新年会は令和9年2月14日(日)に開催予定です  
(詳細は次の会報および淡交PORTALにてご覧ください)

令和9年度は75回の皆様が幹事です  
幹事を募集しますので自薦・他薦を問わず事務局へご連絡ください

# AIロボットは家族になれるか

佐藤嘉倫・京都先端科学大教授が講演

## 新年会報告

令和8年の淡交会新年会は2月15日(日)、亀戸のアンフェリシオンで約110名の

会員らが参加して開かれ、第一部では、宇田川雅之淡交協会長の挨拶の後、京都先端科学大学人文学部教授・学部長で日本学術振興会学術システム研究センター副所長の佐藤嘉倫(よしみち)さん(73回)が「AIを備えたロボットは家族の一員になれるか?」と題して講演しました。

佐藤さんは江東区生まれで、東京大学文学部を卒業後、横浜市立大学助教授、東北大学助教授、シカゴ大学客員教授、コーネル大学客員研究員、東北大学大学院文学研究科教



講演する佐藤嘉倫さん

授・副研究科長を経て現在に至り、1997年には東北大学から博士(文学)を授与されています。専門は社会学です。講演要旨は次の通り。

◇

女性型知能ロボット「ジェミノイドF」と犬型ロボット「aibo」を比べて、多くの方がaiboを好むのはなぜか。また、筒井康隆著『心理学・社怪学』の中の「ナルシズム」で、女性型ロボットを購入して同居した男のエピソードを読んで「面白い小説だが、何かひっかかるものがある。それは何か」という疑問について考えてみたい。

そもそも家族とは何かというところ、かつては家族は三世帯同居し、生産の場、家の継承、子供の養育、宗教儀礼など多くの機能を担っていたが、近代化に伴って家族の持つていた様々な社会的機能を別の組織が担うようになり、現代の家族は「性愛に基づく親密圏としての家族(いわゆる核家族)」に変容した。その背景として、恋愛結婚と見合い結婚の割合の推移

をみると、かつては6割を占めた見合い結婚が1960年代後半に逆転し、現在では5%程度に減る一方で、恋愛結婚が9割近くに達している。性愛と結婚を結びつけるロマンチック・ラブ・イデオロギーが浸透した結果だと思われる。

家族構造も変化して、夫婦と未婚の子供が同居する標準世帯が減り、単独世帯や夫婦のみの世帯が増えている。性愛に基づく親密圏が作れなくなった。そこで犬や猫をペットとして飼う世帯が増え、ペットは「うちの子」と考え、50%以上の人が「ペットは家族の一員」と答えるようになっていく。さらに、aiboを家族の一員と思いつつ、壊れたaiboの葬式まで営まれている。

AI(人工知能)を備えたロボットが家族の一員になれるか否かは、人間がロボットを家族だと思えるか否かがポイントだ(佐藤健・国立情報学研究所教授)。また、乾健太郎・東北大学大学院教授によれば、「今のAIには常識知がない」という。そこで、筒井康隆の小説の「何か」とは常識知の欠如だったことが分かった。ということは、外見と会話が決め手で、aiboは外見が可愛く、会話も、

ペットで言葉を話さないため、AIに常識知がないことがばれないので成功している。ロボットが家族の一員になるためのもう一つの戦略は、外見は限りなく人間に近づけるとともに、常識知を身につけることである。

しかし、AIを備えたロボットは高価なため、新たな不平等の生まれる可能性がある。また、倫理的問題もあつて、例えばロボットは人間に危害を加えてはならないとして、殺人ロボットや戦争用ロボットは倫理的に許されないはずなのに、ウクライナ戦争を見ても、ロボットが戦争に使われている現実がある。人間はロボットをいかに扱うべきかが問われるが、自動運転車に関する法的整備の問題や内定辞退率予測データの売買のような個人情報取り扱いに関する問題も発生している。

◇

第2部は、淡交会名誉会長の鳥屋尾史郎両国高校・附属中学校校長が挨拶された後、スウィングライツジャズオーケストラの演奏と敷紀子さん(77回)の歌声を聞きながら、飲食・歓談を楽しみました。お楽しみスクラッチゲームの後、一同は岩崎結さん(104回)のピアノ伴奏で校歌を歌い、お開きとなりました。

コンピュータセキュリティ  
Since 1986

Email: sales@suncarla.co.jp

サンカーラ株式会社  
代表取締役 小林繁樹 (73回)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-6-5 丸彦ビル 3F  
Tel: 03-3249-3421 Fax: 03-3249-3444

www.suncarla.co.jp



## 淡交会結成120周年記念デジタルブック製作、進行中

〈淡交会結成120周年記念事業委員会 歴史部会〉

淡交会結成120周年記念デジタルブックは、完成に向けて、編集作業を継続中です。「まだ調べているのか？」というお叱りの声も聞こえてきそうですが、「いい加減な情報は載せられない」とメンバーで入念に下調べを行った上で、記事に起こしています。

また、昨年から多くの先輩方にオーラル・ヒストリーを語っていただき、それをもとに、府立三中から新制両国高校への移行の段階を「入試システム」「学区問題」を含めて解明しようとしています。この移行期については先行論文が幾つもでていますが、母校の場合との齟齬も認められ、新事実と思われる点も発見されました。非常に難解を極めるため、さらなる究明が必要です。歴史部会では、これらの難問をぎりぎりまで追求していきます。

### 《主なコンテンツ紹介》

- 歴代淡交会会長の紹介・淡交会小史・淡交会報のあゆみ・校舎の変遷。
- 120周年記念特別演奏会を振り返る：参加者名簿・舞台写真・校歌の原典と解説・論文集「校歌の探求」。
- 淡交会の120年：淡交会の立ち上げ・関東大震災と校舎焼失・戦前の教育・東京大空襲と三中・戦後教育と男女共学・中高一貫教育開始・東日本大震災とコロナ禍・展望。
- 淡交会文化史—表現と継承の120年—作家・書家・画家・建築家・音楽家・領家高子氏（71回）のエッセイ。
- 収集したオーラル・ヒストリーより、「時代の証言」。



※デジタルブックは紙で製本し販売も行います。ご予約は事務局まで。限定300冊/4,000円（予定）



## 45分・7時間授業への改定検討

校長 鳥屋尾<sup>とやお</sup> 史郎

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私は今年度、着任2年目となりましたが、昨年度の経験を糧に、教育活動全般をさらに発展させていくべく、校内での検討を進めていく所存です。現在、教職員で教育活動改定に関する検討を進めている事項をご紹介します。

◆現在の本校の状況等  
今年度、中高一貫教育が始まって21年目を迎え、本校附属中学校は地域の小学生にとつて中学受験の際の大きな目標となりました。中高一貫の6年間の成果として、引き続き優秀な卒業生を送り出し、大学進学実績についても高い評価を継続することができています。

さて、本校は令和4年度から高校入試を停止しました。それまでは、附属中学校から3クラス、高校から2クラスの生徒が新たに入学して計5

クラスとなっていました。今年度は高校入試停止の3年目にあたため、高校3年生のみが3クラスで、高2以下の学年は全て1学年4クラスです。

高校からの入学生を迎えるにあつての大きな課題は、中学入学生との学習進度の差をどう埋めるかという点でした。中高一貫教育では、一般的な公立中学校より授業が早く進み、発展的な内容や高校の範囲に踏み込んだ学習が行われます。以前は進度を揃えるための工夫を重ねてきたと聞いていますが、高校入試の停止により、こうした配慮の必要がなくなりました。これにより、中学段階からさらに発展的な内容を取り入れることが可能となりました。

### ◆教育課程の改定

こうした背景から、中高一貫教育をより効果的に進めるため、教育課程の改定を検討しています。現在、校内で検討している教育課程案は、現行の「50分・6時間授業」を「45分・7時間授業」に変更

するカリキュラムです。これにより週当たりの授業数が34コマとなり、隔週の土曜授業を実施せずとも、授業を確保できるようになるので、土曜授業は廃止することになります。主要5科目の授業数を増やすことができるので、さらなる学力向上を図りたいと考えています。

### ◆キャリア教育と探究活動を連動させた「志学」

教育活動の根幹となる教育課程だけでなく、本校独自のキャリア教育と探究活動を連動させた、新たなスタイルの「志(こころざし)学」をつくり出すことにも注力しています。昨年度の探究活動発表会には、淡交会の皆様に毎回ご来校いただき、ご指導を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

### ◆国際交流・国際理解教育

昨年度の淡交会報で、高校2年生の海外研修をカンボジアで実施する旨をお伝えしましたが、現地の情勢により実施が困難となりました。現在、代替の研修先としてマレーシア・クアラルンプールを検討しています。中学3年次でのアメリカ・ユタ州派遣に加え、高校2年次で異なる文化圏を体験することで、生徒の視野を大きく広げることができると考えています。

本校の探究活動は、墨田区の地域学習から始まり、そこを起点として自らの興味・関心に基づいたテーマを選択し、フィールドワークやインタビューを通してより高度な内容に取り組む手法をとつて

います。探究活動を通じて教科の枠を超えて知識を広げることが生徒たちの進路選択における「知との出会い」となります。将来の選択、キャリア形成につながる「志学」を築いていきたいと考えています。

◆国際交流・国際理解教育  
昨年度の淡交会報で、高校2年生の海外研修をカンボジアで実施する旨をお伝えしましたが、現地の情勢により実施が困難となりました。現在、代替の研修先としてマレーシア・クアラルンプールを検討しています。中学3年次でのアメリカ・ユタ州派遣に加え、高校2年次で異なる文化圏を体験することで、生徒の視野を大きく広げることができると考えています。

昨年度、淡交会の皆様から在校時の思い出を拝聴する機会がありました。興味深いお話ばかりでしたが、皆様が本校で経験し、達成された成果の全てが、現在の現役生徒たちにつながっていると強く感じています。卒業生の皆様の経験の蓄積と継承が、新しい発想や創造を生み、現役生の活躍へと結びつきます。淡交会の皆様には、今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

不動産管理

サンネックス株式会社

千倉 嘉一 (60回)

〒134-0091 江戸川区船堀2-23-13

TEL 03-3869-1111 FAX 03-3869-1133







## 第2回 生徒会・淡交会FORUM

両国高等学校及び附属中学校生徒会と淡交会代表者による第2回生徒会・淡交会FORUMが2月14日、昨年に引き続き開催された。31名が参加して、現役生と卒業生との交流を深めることが出来た。

まず生徒会長、副会長、書記、会計など生徒会役員が部活動や出身地を紹介した。次に卒業生たちが自己紹介し、卒業年次、職業、在学時の活動について語った。アイスブレイクゲームとしてフラフープダウン（写真）を行った。コミュニケーション促進のためのゲームとして紹介され、中学生チームが優勝した。



國馬淡交会事務局長から淡交会の活動が紹介された。卒業生3万人のうち連絡可能な1万5000人の名簿の管理、「二十歳のつどい」などの同期会支援、年2回の淡交会報発行、卒業証書フォルダー贈呈などの事業が説明された。また、淡交会は奨学金支給、海外語学研修支援、職場体験授業支援なども実施しているほか、昨年は淡交会結成120周年記念事業として、淡交ファイルハーモニー管弦楽団と淡交混声合唱団、有志によるベートーヴェン「第九」特別演奏会がすみだトリフォニーホール大ホールで開催された。

淡交会環境委員会からは、現在12名の委員が自然環境をテーマとした活動を展開しており、両国祭への参加、環境セミナー開催、淡交会報への寄稿などを行っていることが報告された。

最後に、現役生徒が将来の夢について発表し、先輩方からアドバイスした。生徒会長は幸せな家庭を築くことを目標とし、副会長は

地方行政への関与を希望した。他の生徒からは、ディズニー関連企業への就職、プロ野球選手や総理大臣、政治家、自衛官などの夢を語った。先輩方からは具体的な進路アドバイスや経験談が話された。卒業生たちからは、現役生の考えの深さに感銘を受けたとの感想が述べられた。国を守る気概を一人一人が持つことの重要性が強調された。淡交会への入会と活用が呼びかけられ、今後も交流の機会を持ちたいとの意向が示された。

### 附属中3年の卒業研究論文に淡交会員が協力

平成7年度も11月25日と1月27日、淡交会員が附属中3年生の卒業研究論文を支援しました。参加者から、生徒たちのユニークな発想に驚き「病みつきになる」との感想が出るほどでした。最終発表会で、1組秋山幸哉君の「駅前ロータリーの歩行者の横断をなくすためには」と2組塩崎遙真君の「環境の違いがハシブトガラスの形状に差を及ぼすのだろうか」は、素晴らしい研究発表でした。

### 卒業研究指導に関われ光栄

大橋優紀子 90回  
このたび中学卒業研究発表

会に指導講師としてはじめて参加させていただきました。生徒の皆さんの理解力、頭の回転の速さ、集中力は、さすが両国生！サクサクついてきてもらえる快感、一話せば十通じる快感を感じました。未来ある若い生徒さんが、熱心に耳を傾けてくれたこと、「メチャいい話だった!」、「時間が終わっちゃうた!」などと言ってくれたことが嬉しく、これは病みつきになりますね。

卒業研究指導に関わることで光栄でした。次年度も極力仕事の調整をして、ご協力させていただきたいと思えました。ご準備くださった淡交会事務局先輩の皆様、両国の先生方の労力は相当なものだったと思います。

有意義な教育活動を実現してくださり、学びのバトンリレーに参加させていただき、誠にありがとうございます。発表会にも伺えたらよかったです。残念です。

### 第44回合唱コンクール

2月19日(木)、ティアラ江東が改修のため会場を浅草公会堂に移して、第44回合唱コンクールが開催されました。会場が狭いので中学と高校を午前午後に分けての開催になりました。中学生は高校生を、高校生は中学生の歌を聞けな

いという残念な形になりました。淡交会から審査委員長・新田ユリさん(77回、指揮者)、審査員に桐ヶ谷ボビーさん(72回)、シンガーソングライター・作曲家・編曲家・ボイストレーナー、岩崎結さん(104回、ピアニスト)が参加しました。

今年のテーマは「天歌夢奏」。中学生の課題曲は1年生「校歌」、2年生「Over the Rainbow」(E.Y.Harburg作詞、Harold Arlen作曲)、3年生「ぜんぶ」(さくらももこ作詞、相澤直人作曲)。中学生は各学年ごとに金賞が表彰され、金賞と自由曲は1年3組「空は今」(山崎朋子作詞・作曲)、2年2組「あなたへ」(旅立ちに寄せるメッセージ) (筒井雅子作詞・作曲)、3年1組「はじまり」(工藤直子作詞、木下牧子作曲)でした。

一方、高校生は1、2年生合同審査で行われ、課題曲は「殖生の宿」(里見義作詞、R.Bishop作曲)でした。金賞は2年C組、自由曲「春に」(谷川俊太郎作詞、木下牧子作曲)、銀賞は2年B組、自由曲「夜明けから日暮れまで」(和合亮一作詞、信長貴富作曲)という結果でした。来年も浅草公会堂で開催の予定です。

# 母校の委員会活動

## 高校図書委員会

高校3年 新井 瑠理

高校図書委員会は毎週水曜日、昼休みに集まって活動しています。夏までは文化祭の企画を考え、葉の頒布、図書館内を案内する紹介動画とポスターの作成の準備を進めました。文化祭では「古本市」を開催し、先生方や生徒の皆さんから集めた本を古本として売ったり、お守りをモチーフとした葉を作って配布したりしました（写真）。古本市の売り上げは寄付させていただきました。三学期にはクイズ企画としてクロスワードを行い、景品として古雑誌を配布しました。クロスワードは決められたマスの中を埋めていく作業が特に大変でした。



また二月には、「書窓」という委員会誌を作成し発行しました。内容としてはプロフ

(プロフィール) 帳をモチーフに昔を生きた文豪たちの紹介をしたり、二月のイベントといえばバレンタインなので恋をテーマに本を紹介したり、本にまつわる座談会を収録したりしました。どうしても忙しく、本を読む機会が減っていました。小学生のころを思い出すような話をしたり、好きな本やおすすめの本を紹介し合って、本を読むモチベーションが上がりました。

## 学校保健委員会

養護教諭 太田 麻美

本校では毎年12月に学校医の先生、スクールカウンセラー、保護者代表、生徒代表、教職員が一堂に会し、本校の健康課題について考える大切な機会である「学校保健委員会」を開催しています（写真）。

そこで中・高保健委員は日頃の学校生活の中で感じている健康課題をテーマに、調査や学習を重ね、その成果を自分たちの言葉で発表します。

今年度は「心の健康」をテーマに4名のスクールカウンセラーによる研修を受けたことや、健康課題に対して啓発動画を作成し、その取り組みを発表しました。発表後は参加



者全員で意見交換を行いました。保護者から生徒へ質問が寄せられる場面もあり、我が子と同世代の生徒の考えを直接聞くことで、子どもへの理解が深まったという声もいただきました。保健委員が生徒の代表として健康について学び、発信するこの取り組みは、本校の学校保健活動の大きな柱となっています。

## 中学保健委員会

中学3年 久保 亜藍

みなさんは両国の健康課題について何だと思えますか？

保健委員会で話し合ってみると、「スマホの使いすぎ」や「メンタルヘルスに対する知識がない」といった意見が多く出ました。そこで後期は、「心と体の健康」をテーマに

活動しました。中学保健委員会は二十四人で活動しており、みんなで意見を出し合い



ながら取り組みを考えていきます。スマホの危険性について発信する際には、動画を作成して朝礼で流したり、ポスターを作って校内に掲示したりしました。スマホを安全に使用してもらえよう、内容を工夫して作成しました。

また、メンタルヘルスについて考えるきっかけをつくるために、スクールカウンセラーさんにご協力いただき、「メンタルヘルス研修会」を行いました（写真）。そこで学んだ漸進性筋弛緩法や傾聴の仕方について、帰りのHRや朝礼の時間で生徒のみならずにも実際に体験しながら学んでももらいました。これから両国生の健康について考える活動を続けていきたいと思っています。もし健康に関する研修会や講演などを行ってくださる方がいらつしやいましたら、ぜひ保健委員会までお声がけください。

1939年創業 有機溶剤リサイクルの静脈企業

# 太平化成株式会社

代表取締役 百目鬼健 (73回)

東京都葛飾区宝町2-34-23 TEL 03-3693-0013

～ご葬儀のことなら、すべてお任せ下さい～

カルチャーパビリオン

# 平安祭典

☎ 03 (3633) 3357

24時間受付  
年中無休



## 営業のご案内

仏式・神式・キリスト教式  
友人葬・自由葬・各宗派

- お通夜 ●ご葬儀・告別式
- 社葬・団体葬 ●個人葬
- ご法要 ●生花・花環 ●灯籠
- 病院からのご遺体移送
- ご遺体おあずかり
- 貸衣裳 ●仕出し
- 仏壇仏具 ●墓地墓石

フォト：平安祭典深川会館



品質保証の国際規格『ISO 9001』

ウェルライフグループ

品質マネジメントシステム登録

株式会社 日冠  
株式会社 日本サービスセンター  
株式会社 ウェルサプライ



## 平安祭典

## 施設のご案内

カルチャーパビリオン 平安祭典 深川会館	江東区森下5-9-5	☎ 03 (3635) 2241
カルチャーパビリオン平安 北砂	江東区北砂5-16-16	☎ 03 (3647) 8551
カルチャーパビリオン平安 南砂	江東区南砂4-3-9	☎ 03 (5633) 6111
カルチャーパビリオン 平安 豊洲・枝川	江東区枝川1-2-4	☎ 03 (6666) 0017
ウェルライフホール亀戸	江東区亀戸2-17-7	☎ 03 (3682) 3263
ウェルライフホール平安祭典 銀座・築地	中央区築地4-4-16	☎ 03 (3541) 0110
カルチャーパビリオン 平安祭典 葛西会館	江戸川区東葛西8-3-12	☎ 03 (3804) 4741
カルチャーパビリオン平安 篠崎	江戸川区篠崎町3-11-2	☎ 03 (3698) 4194
カルチャーパビリオン平安 小岩	江戸川区北小岩1-1-1	☎ 03 (3650) 4518
カルチャーパビリオン平安祭典 高円寺会館	杉並区高円寺北2-1-7	☎ 03 (3339) 1101
ウェルライフホール平安祭典 練馬	練馬区北町5-18-15	☎ 03 (3559) 3303
カルチャーパビリオン平安 世田谷	世田谷区船橋6-1-5	☎ 03 (3303) 4100
カルチャーパビリオン平安 立花	墨田区立花5-8-4	☎ 03 (5630) 2230
ウェルライフホール平安祭典 行徳・相之川	市川市相之川2-6-14	☎ 047 (390) 4011

第52期卒業 会長 小泉宗孝

# 母校で121回生二十歳のつどい

1月12日(月・祝日)、121回卒業の約1500名が「二十歳のつどい」で視聴覚室に2年ぶりに集合した。晴れ着姿の女子学生とスーツ姿の男子学生が大勢集まり、懐かしい仲間同士で楽しい会話が弾んだ。

淡交会からは宇田川雅之会長、小川仲子副会長、堀内勝

彦副会長らが、学校からは、121回卒業の生徒が在籍したときの奥村先生たち学年の先生方が参加した。先生方から修学旅行中のトラブルのエピソードが披露されると学生の中から笑いが湧き出し、久しぶりの再会に話が盛り上がった。

その後、参加者たちは体育館のステージの前に集

合して、121回生の代表者が三脚を使用して指示し、晴れ着姿とスーツ姿の集合写真が先生方も含めて撮影された。淡交会からは3万円の祝金が、宇田川会長から瀬尾実行委員長に渡された。その後の2次会は銀座の「THE BAGUS PLACE」で開催され、110名ほどが参加した。

この学年は中高一貫だが、高校入試の最後の学年で、2クラスが高校からの入学だそう

だ。淡交会役員が「二十歳のつどい」終了後に帰宅する時、晴れ着姿でバッシュの女子学生



母校体育館に集合した121回生

が急ぎ足で錦糸町駅まで駆け出すので、事情を聞くと、地元の中学の同期会に夕方から参加することだった。これも最後で、来年からは、全員が都立両国高校附属中学校の卒業生です。

## 両国高校109名が卒業

第123回両国高校卒業式が3月11日に挙行されました。淡交会からは内田副会長が参列して祝辞を述べました。この学年は、3学級109名の卒業生でした。今回、淡交会には卒業生全員100%の入会申込みがあり、淡交会として大変嬉しい限りです。淡交会からは卒業生に卒業証書ホルダーと桜のコサージュを贈呈しました。

鳥屋尾校長先生(写真中央)からは、孔子の言葉を引用し「知る・好む・楽しむ」こと



が人生には重要だと講話されました。内田副会長からは、若い時期の失敗の重要性を強調し、チャレンジ精神を持ち続けることの大切さを伝えました。そして、在校生からの送辞では、先輩方の思いを受け継いで学校の伝統を継承していくことを誓い、卒業生からの答辞では、友人たちとの絆、先生方の支援、保護者への感謝が述べられ、将来社会に貢献できる人間になることを誓いました。

最後に、卒業生たちは胸を張り、両国高校卒業生の誇りを持って旅立ちました。

## 淡交会結成120周年記念誌は、紙版とデジタル版の2種類で製作中

昨年、デジタルブックとして編集を始めた淡交会結成120周年記念誌ですが、ご要望の多い「紙製の本」でも、販売が決まりました。早めのご予約をお待ちしています。それでは少し、トピックをご紹介します。

●記念演奏会「第九」の舞台写真・練習写真や、出演者全員のお名前を掲載。

●新発見! 「府立三中↓都立三高↓都立両国高校」だけ

じゃない「併設中学校」の時代があった?

●校章でおなじみの「三高」の名称。でも、三高時代はたった2年間。

●最初の女子入学者(49回)は2名。超優秀だった!

●淡交会の初代会長、笹沼源之助氏。お孫さんの笹沼東一氏にインタビュ。「おじいちゃんには淡交会が大好きでした」。淡交会を支え続けた60年。

●笹沼源之助記念樹が学校敷地内に現存。資料室委員会と生物部OBが合同で探索。

●「三高地蔵」とは何か? 崩れかけた文字を解説。

●坂本興二さん(38回・101歳)にインタビュ。

●戦前の堤先生(少佐)が作った「三中尚武の歌」を再現。三中の新たな歌を発見。

●49回の同窓会に編集委員が参加。「三櫻会」「ひょうろく会」の皆さまが、最後の府立三中を語る。

などなど、淡交会の歴史はもちろん、読み物としても面白い内容です。また「第九」の記事は充実。出演者にとっても思い出深い記念になることでしょう。

300冊限定/価格4千円(予定)。ご予約は淡交会事務局(03-6284-0801)へ。(淡交会結成120周年記念事業委員会歴史部会編集長・飯島眞樹子 79回)

# 会費未納の方への淡交会報は 年1回の郵送となりました

- 淡交会報は令和6年度まで、年2回（5月・12月）、住所をお届け頂いている会員全員に郵送していました。しかし、郵便料金引き上げや印刷費等のコスト上昇によって会報の制作発送費が増加し、淡交会の会員の**80%強が年会費未納**の状況では、全員に年2回郵送するサービスは継続が困難となりました。
- このため、やむを得ず令和7年度から淡交会報の郵送基準を変更させて頂きましたが、会員の絆である淡交会報をお手元にお届けするという必要性を踏まえつつ、今後も淡交会報の一部をWeb化する等ITの活用を一層進めて参ります。
- 会員の皆様には淡交会の財政逼迫状況と今回の郵送基準変更をご理解いただき、**年会費2,000円を納入**いただきますようお願い申し上げます。

## 令和7年度からの淡交会報郵送の新基準

- ①淡交会報は現行同様に年2回（5月・12月）発行します。
- ②5月発行分は会員全員に郵送しますが、**12月発行分は直近3年間に年会費のお支払い実績のある方だけに郵送します。**
- ③実施時期は令和7年（2025年）12月発行分からです。
- ④88歳以上の寿会員の方には現行通り、年2回郵送します。



淡交会・母校・後援会共有  
マスコットキャラクター  
「あくたがわ先輩」

## 年会費納入・未納の判断

- ①納入実績の有無は、9月末の段階で3年間遡及して実績を確認させていただきます。  
（3年超の過去の納入実績は確認しません）
- ②令和8年12月発行分の郵送有無の判断：令和5年10月1日～令和8年9月30日までの3年間の実績で判断いたします。翌年12月発行分の判断は令和6年10月1日～令和9年9月30日の3年間で判断する等、以降は1年ずつ移行して判断して参ります。
- ③判定期間中に年会費2,000円を納入いただいた会員には12月発行分を郵送致します。

## 淡交会報第95号の二重郵送についてお詫び申し上げます

昨年12月発行の淡交会報第95号の発送におきまして、一部の皆様に対して二重郵送の事態が発生し、会員の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしてしまいましたこと、事務局並びに関係者間で反省、議論し、再発防止策の構築を進めております。まずは管理不行き届きにより発生した事態の報告と心からのお詫びを本誌面をお借りして皆様にお伝えいたしますこと、お許しください。大変申し訳ありませんでした。（淡交会会長 宇田川 雅之）

淡交会事務局長の國馬隆史より詳細について説明いたします。

この度の淡交会報の二重郵送は、年会費を自動振替で納入している会員全員に2部郵送してしまいました。実は、昨年の役員改選による事務局員の交替があり、同時に長年使用していた会員管理システムがダウンしたことによる新たなシステムへ移行が重なり、事務局体制が十分に整わない時期での事故でした。さらには、振込用紙の発送者リストを新旧の事務局員が十分に点検出来なかったことが原因で生じた事案であり、2部届いた会員の皆様にご迷惑をおかけし、淡交会に損失を与えてしまい、大変申し訳なく謝罪申し上げます。今後は、この度の二重郵送の原因を究明し、振込用紙の発送者リストを作成する作業を見直し、マニュアルを作成し再発防止に努めます。

（事務局長 國馬 隆史）

# 第13回環境セミナー報告

日時 2026年2月14日

(土) 午後2時~4時

場所 淡交会会議室

講師 芦田星委員(1~4回)

演題 「みんなでやろう生物多様性保全」

出席者 11名(講師を含む)

会場 7名、オンライン 4名

## ▽講演要旨

30年ほど前に生まれた新しい言葉「生物多様性」。現在では高校生物の教科書にも登場し、その重要性や保全の必要性が広く知られるようになった。では私たちは、この「生物多様性」をどのように捉え日々の暮らしの中でどう向き合えばよいのか。本講演では、普段の生活との関わりから行政・企業・市民など多様な主体が関わる保全活動の現場まで、具体的な事例を通して生物多様性の「今」を伝える。

## ▽講演内容

- ①生物多様性 Biodiversity とは
- ②生物多様性の恩恵と危機
- ③生物多様性をめぐる社会の動き
- ④みんなでまもる！光が丘公園すき原っぱ
- ⑤みんなでやった！外来植物の抜き取り

⑥アメリカザリガニの駆除体験

## ▽質疑・意見

①高安委員から、種々の外来種について、対策の軽重の差はどのように決まるのかという質問があった。芦田委員から、在来生態系に侵入した外来種は取り除くことが望ましいが、対策のためのリソースが有限な中で、与えている影響の大きさや、効率的に駆除を進めることができるかどうかといった観点から対策の優先順位が決まる、という回答があった。

この質疑応答について細谷委員から以下のように補足があった。まず、外来種の定義は明確で、人為的(意図の有無を問わない)に自然分布域外に持ち込まれた種である。その中で、人の管理に堪えるかどうか、つまりは侵略性の有無が外来種を扱ううえで大きなポイントとなる。例えば、日本ではイネやキャベツは栽培管理のもとでのみ安定した生育が可能で、野生化する危険はほとんどない。しかし、オーストラリアにおけるブタは人により品種改良

された種ではあるものの、管理下から逸脱し、野生化して大きな被害をもたらしており、対策が必要になっている。

## ②続いて高安委員から、私たちがいつの生物多様性の状態を保全していかなければならぬのか、という質問があった。これについて細谷委員からの補足を通し、

現生人類の成立から現在までの時間と比べて、はるかに大きなタイムスケールで成立してきた生物多様性を人類が今、急速に劣化させているという認識を共有した。芦田委員から、人類をとりまく生活環境を保全

し、次世代に多くの選択肢を残すために、その劣化を止める必要があると回答があった。

報告者 近藤 和廣 (62回)

## ◇

環境委員会委員名簿

中村晴永 (55回)

磯貝三男 (56回、委員長)

児井正臣 (60回、副委員長)

伊藤 林 (62回)

近藤和廣 (62回、副委員長)

高安克己 (64回)

細谷和海 (67回)

大野和子 (68回)

一澤成典 (69回)

清田秀雄 (74回)

井伊博行 (75回)

芦田 星 (114回)

## 淡交会報・広告主募集

淡交会活動には、会員同士の「親睦」と在校生への支援など母校への「貢献」という2つのミッションがあります。しかしながら、完全中高一貫化による卒業生数の減少によって、淡交会の財政事情は芳しくありません。

淡交会報の広告主を募集しています。その広告収入は、ミッション達成の貴重な財源となります。ご協力ください。

淡交会報への広告掲載は、卒業生や現役生徒、教職員だけでなく、同窓生の家族にも情報が届く貴重な機会です。さらに同窓生間の交流や企業や団体の社会貢献へのイメージアップにも繋がります。

5月号16,000部、12月号5,000部の年2回の発行です。(ネット配信あり) 詳細は淡交会事務局へご連絡ください。

幅広いラインナップでお客様のニーズにお応えします

書籍・パンフレット・ポスター

小冊子・記念誌・会報・学校文集・広報誌  
新聞・カタログ・チラシ・教育下敷  
論文校正・電子アーカイブ 等

印刷界隈でお困りの方  
まずは、ご相談ください

Planning Design Digital Printing 〒272-0033 千葉県市川市市川南2丁目7番2号  
TEL.047-324-5977 FAX.047-323-1106  
URL : http://www.kobunsysa.com

株式会社 弘文社

# 母校6価クロム土壌汚染と 豪州タスマニア島調査の旅

環境委員会報告 (その33)

私事ですが、2025年3月まで公職で、環境についての研究活動、研究教育を行ってきました。4月に長年居住した和歌山市から引越して、9月の両国祭にやと訪ねることができ、淡交会の環境委員会の活動を知り、メンバーに入った次第です。今回は、環境委員会の報告として、高校時代の地学部の活動で行った土壌汚染から展開した話をします。

1年生の時に、「両国高校でもテニスコートで6価クロムが見つかった」とニュース報道されました。メッキ工場などで使用された6価クロムの廃液を含む廃土が、この地

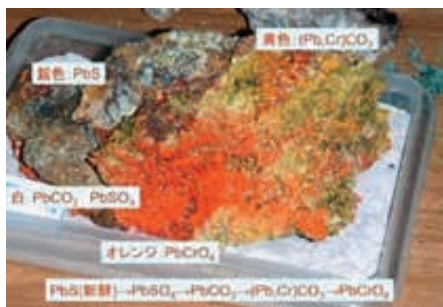


写真1：タスマニア島ダングスイクスタンド鉱山産鉛鉱脈に伴うCrocoite (オレンジ色) 標本



写真2：同鉱山坑道内の鉛鉱脈

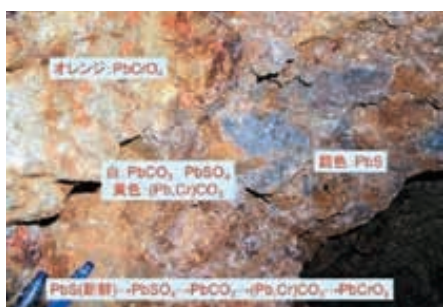


写真3：同鉱山坑内未風化のPbS、その周辺に白い硫酸鉛、炭酸鉛、その外側に黄色炭酸鉛、Crocoite



写真4：アデレード鉱山坑内での地下水調査。鉛、クロム濃度は高くない

域で広く埋め立ての覆土として利用されたようでした。雨になると、溶解性の6価クロムイオンが染み出して、両国高校の校庭(テニスコート)の一部が黄色に染まる現象が起きていました。私が確認しようとした時は、校庭の汚染とはできませんでしたが、付近には、まだ汚染地帯があり、汚染土(黄色を帯びていた)を採集して、両高祭の地学部の展示で並べた記憶があります。残念ながら、採取場所は(廃土を埋めた空き地で? 平井駅から歩いた?) はっきり覚えていません。

自然界では、クロムは3価が一般的で、6価クロムは非常にまれです。一方、クロムを燃焼させるなどの方法で人工的に6価クロムを作ることが可能です。3価のイオンは水に溶解しにくく、6価のイオンは溶解しやすいので、6価クロムは様々な用途(メッキ)で工業的に利用され、その排水や廃土が問題になったのです。

自然界で見られる6価クロムの鉱物は非常にまれ(多くの鉱物は3価)で、自然界でも燃焼に伴って6価が生成します。石炭のボタ山(石炭を掘った時にでる岩石)で火災が起きた後に6価の鉱物が見られます。しかしながら、豪州のタスマニア島は6価クロムを含む鉱物、Crocoite (PbCrO4)の産地として世界的に有名ですが(見事なオレンジ色の結晶、写真1)、石炭と無関係です。この産地は、蛇紋岩地帯(クロムを多く含む岩石)に存在する鉛の鉱脈の風化地帯で、鉛とクロムを含む鉱物として産出します。したがって、石炭の燃焼に伴ったものではなく、生成がよく分かっています。

そこで、タスマニア島で地質、水質、植物の調査を行いました。Crocoiteは、蛇紋岩を切る鉛の鉱脈に沿ってのみに見られ、新鮮な鉛の鉱物(硫化鉛)の外側に、地下水との反応物である硫酸鉛、その外側に、炭酸鉛(炭酸イオンは地下水や周囲の炭酸カルシウム起源か?)、さらに、その外側に、黄色のクロムを含む炭酸鉛、最後に、6価クロムのCrocoiteが分布します(写真1、2、3)。

よくわかっていません。マンガン鉱物がCrocoiteに伴っていることから、マンガニオンとの酸化、還元反応が関係しているかもしれません。このような鉱物のできる場所では、植物の重金属の濃度も高く、この地区の苔のクロム濃度は乾燥重量で数%に達することもあります。苔のクロム濃度は、場所によって大きく変化し、環境指標となることが分かります。苔はクロム以外に、銅、鉛も高濃度を含むことができます。今後環境調査事例を紹介できればと思います。

環境委員 井伊博行 (75回)

東京成功総合法律事務所  
上海市成功綜合律師事務所

しん かい あきら  
弁護士 真 貝 暁 (66回)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目8番地  
半蔵門ハイム301  
TEL: 03 (3265) 3357 FAX: 03 (3265) 3358  
E-mail: tokyosuccess-lo@mtb.biglobe.ne.jp  
URL: http://www.tslo.net

## あの先生は今

☆永谷 雅仁先生（日本史）

今回ご登場いただくのは平成14年4月に都立王子工業高校から都立小岩高校を経て転任され、令和5年8月まで中学位、高校日本史を担当されていた永谷雅仁先生です。永谷先生は102回生の担任と109回生の学年主任、113回生の学年主任をされ、教務部・進路部を担当されてきました。

Q1 両国に赴任されることになった経緯を差し支えないところで。

前任校の校長面接で異動希望先について聞かれた時に、「もう少し受験指導に集中できる所を希望します」と答えました。ふたを開けてみたら両国でした。「いくら何でもまさか！」と衝撃を受けました。

Q2 赴任前の両国のイメージは？

進学校、真面目な生徒ばかり、俺で大丈夫かな、とんでもない所に決まったなあと感じました。

Q3 赴任後の印象は？

実際に接してみると、やはり旧6学区、人懐こい生徒がほとんどでした。最初に授業に出たのは2年生8クラス（99回生）ですが、優しく迎えてくれました。その頃は今よりも多く両国独特のしきたりがありました。

### 「まさか」で始まり「まさか」で完結

りがありました。生徒から色々教えてもらいました。

Q4 印象に残った生徒や先生の思い出があれば。

いくらでも話せますが、一つに絞るとすれば赴任して最初の校長（千田捷熙先生）面接です。高度な授業の準備・

現できませんが、その時の激励の言葉を思い出しながら本当に少しづつですが、両国の教員として成長していくことができたと思っています。

Q5 思い出に残るエピソードなどはあれば。

中高一貫校に転換したという大きな変化に直面しました。最初の卒業生を出した後、開設準備室に1年間在籍し、その後6年間学年主任を担当しました。高校しか知らない一介の教師が義務教育の現場に放り出され、特に月曜日（道徳）・水曜日（学活）・金曜日（総合的な学習の時間）と山

の皆さま方でした。今でもみんな戦友だと思っています。

Q6 転任後から現在までの様子。

令和5年度から非常勤講師になりましたが、健康上の理由からわずか5か月で教壇を去ることになりました。現在、主な栄養は腸から直接摂取し「要介護」の認定まで受けていますが、そこそこ元気に暮らしています。春の声を聞く頃には受験生の皆さんのことを祈る気持ちになります。

Q7 卒業生たちに一言お願ひします。

まさか23年間もお世話になるとは思いもしませんでした。「まさか」で始まり「まさか」で完結した私の両国ライフの一言でした。非力な私も含めて「チーム両国」は今もそしてこれからも皆さんを応援しています。

もう一言「こんなに長くいたのには私（望んでも）両国を母校とは言えません。卒業生の皆さん母校に誇りを持って前進してください」。



年4回の実力考査の課題作成等で暗中模索の日々でした。「両国は大変でしょ？」とお言葉でした。「ハイ」と答えるしかありません。「そうでしょうね。でもね、生徒はもつと大変なんですよ」がご返答でした。うまく再

今年9月5〜6日に開かれる両国祭展示のテーマは「淡交会結成120周年記念特別演奏会を振り返る」です。

### 9月5〜6日の両国祭展示テーマ 「120周年記念演奏会を振り返る」

昨年7月12日（土）、すみだトリフォニール大ホールで行われた特別演奏会は、約1300名の観客の前で、

### 両国高・附属中の入学式

（資料室委員長 神尾正利）

両国高校・附属中学校の入学式が4月7日に行われ、高校155名、中学校152名が入学しました。鳥屋尾校長が祝辞を贈り、新入生代表が誓いの言葉を述べました。



# 淡交会の法人化について

副会長・組織委員長 堀内 勝彦（70回）

昨年7月の総会において、淡交会の社団法人化の方針と新法人の定款を策定する事が承認されました。両国高校の同窓会である淡交会は、1901年の府立三中創立後、1905年に結成され、昨年120周年を迎えました。淡交会はその間、同窓会組織として機能し続け、その営みは戦時中においても途切れる事はありませんでした。

特筆すべきは、会報等の記録類がほぼ欠ける事なく継続的に所蔵・保全されている事です。全て揃っているのは都立の旧ナンバースクールでは本校だけです。これこそ伝統校が持つ矜持の発露であろうと思います。淡交会は会員名簿の管理、会報の発行、会員の交流催事支援、在校生への教育支援、その他大規模な記念催事の開催等多岐にわたって活動しています。

さて、こうした活動をこれまで任意団体で行ってきたが、問題点も出て参りました。先ず契約事に関して、代表者が交替するたび煩雑な手続きが出来る事、補助金等申請要件に法人格を要求され

る事、高額の寄付金や遺贈を無税で受け入れるには一般社団法人化が必須である事などです。そこで、団体の会計管理・運営の健全性つまり社会的信用を対外的に得る為には、法人格の取得は今後避けられないとして、議論の結果、今後の社団法人化の方針が決まりました。

では、どのようなイメージの組織にするのか検討していますが、常任理事会での審議内容は以下の通りです。

- ① 現淡交会を一般社団法人とする。名称未定。
- ② 法人上の社員は現常任理事となる。この場合の社員とは、法人の重要事項の決定権限のある人の事で被雇用者の事ではありません。
- ③ 同窓会組織なので代議員制度を採用。会員の内、年会費を払う者は代議員に立候補出来る。定数を超えれば選挙で選出。超えなければ全員当選。

## 非営利型一般社団法人の設立に精通している司法書士募集

今、淡交会では、一般社団法人化に向けて、定款作成の作業を進めています。

両国高校の中高一貫化による卒業生の急減で、淡交会の財政事情は芳しくありません。多くの旧制ナンバースクールの同窓会が法人格を取得していることもあり、事業の拡充、財務・組織の安定性と透明性を確保し、より多くの人による執行体制を構築するため、昨年の総会で淡交会を近い将来に一般社団法人とする方向性が確認され、「定款」を作成することが承認されました。

今後、登記書類の作成と法人登記を行うには、非営利型一般社団法人の設立に精通する司法書士が必要なため、卒業生の司法書士を募集しています。詳細は淡交会事務局にご連絡ください。

準備が順調に進捗すれば、来年にも淡交会の一般社団法人化の総会での承認と設立の実現を目指すものと考えております。以上、法人化の取り組みについてご報告申し上げます。

- ④ 代議員の中より理事を選ば、理事の中より常任理事を選んで、常任理事は社員となる。常任理事の中より理事長（会長・代表社員）を選出する。
- ⑤ 現淡交会員は拒絶の申し出をしなければ新法人の会員となる。新たな卒業生は入会申し込みをして会員となる。
- ⑥ 新法人設立後は、社員総会が最高意思決定機関となるが、実際の運用方法は細則で定める。従来の総会は『会員の集い』（仮称）として開催する案がある。
- ⑦ 原則的に現淡交会のやり方を踏襲する。新法人設立の為の必須要件に抵触する場合は除いて、現淡交会会則に準拠した定款を目指す事とする。

以上を踏まえて、これより定款策定、細則及び会則とのすり合わせ、新法人移行の手順とコミュニケーション等の作業を始める予定です。

ここで⑤にご注目下さい。淡交会事務局が連絡先を把握している会員は約1万5千名で会報を送付しています。我等同窓生は卒業時に5年分の年会費を支払いました。本来ならば6年目から年会費は発生していたのですが、支払わずとも会報が送り届けられ続ける為に、大多数の同窓生は全くの無自覚のまま無料会員と錯覚し続けていると拝察しております。非難するとか嫌味を言いたい訳ではありません。誰が悪い訳でも無いのです。とは言え、このおかしな

状況がなぜ可能だったのかを申し上げますと、毎年400名もの新卒業生から得られる一時金がベース収入となり、支出を均衡させていただけなのです。

ところが、今般我が校の中高一貫制が完成し、毎年の卒業生数が三分の一に激減する事になったのです。それは淡交会のベース収入が三分の一になる事を意味します。このたびの法人化ですが、こうした状況を改善し、皆様にとつても親しみ易く母校との繋がりを感じて貰えるような組織として再出発したいという願ひも含んでいます。

年会費を正しく納入している会員の割合は2割に届きません。かく言う私も数年前まで8割の中の一員でした。ちこちゃんではありませんが、『ボーつとして会報読んでるんじゃねえよ！』と言えればいいなと思いつつ、皆様のご理解共々淡交会の一般社団法人化へもご期待頂ければ幸いです。





- 福祉機器の販売とレンタル ●高齢者障害者用住宅リフォーム
- ケアプラン作成 ●訪問看護サービス



# あっぷる

**江東店** ☎ 03-3636-1199(代)

〒136-0071 江東区亀戸1-43-9 コープ野村1F



## あっぷる デイサービス

☎ 03-3636-1206

〒136-0071 江東区亀戸1-33-5 シテセレスト1F

●亀戸駅より徒歩8分 ●  
■ご利用時間■ 月曜日～金曜日  
午前9時30分～午後3時45分

第52期卒業 会長 小泉宗孝

毎朝の食卓に“しあわせ”をお届けしたい。

ヤマザキはそんな気持ちを込めて  
パンを焼きます。良質の小麦を選び抜き、  
自然の風味を活かして、ていねいに、  
ていねいに焼き上げます。

食卓でのいい出会いを大切に、  
気分のいい食事から一日を  
元気に弾ませたい。ヤマザキはそう  
願ってパンをお届けしています。

### 山崎製パン株式会社

〒101-8585 東京都千代田区岩本町3-10-1

代表取締役社長

飯島 延 浩 (57回)



[www.yamazakipan.co.jp](http://www.yamazakipan.co.jp)





## 会員の著書紹介

『ある漢方医の偉業 浅田宗伯と明宮嘉仁親王(大正天皇)』

寺澤 捷年 60回

元千葉大学大学院和漢診療学教授で淡交会第9代会長の寺澤捷年さん(60回卒)による最新の著書です。著者は、明治天皇の第三皇子である明宮嘉仁親王が幼時の髄膜炎を克服し、後に大正天皇として即位された歴史の裏に、漢方

の皇子の治療を洋医の介入を許さずに完遂できたのか。その理由について著者は、第一皇子、第一皇女、第二皇女、第二皇子がすべて夭折し、その治療に当たった洋医侍医団への信頼が揺らいでいたことから、漢方の名医を招くことが考えられたのではないかと推測しています。

医浅田宗伯(1814~1894)の壮絶な救命治療が存在したことを明らかにし、昭和、平成、令和の皇統継承に宗伯が果たした偉大な功績を後世に書き残したいとの一心から執筆したと記しています。

近代国家の形成を急ぐ明治政府は、医師の養成についてはドイツの医学教育を模範とすることに決め、明治天皇の侍医団も漢方医は排斥され、洋医が独占していました。なぜ宗伯が明宮の実母・柳原愛子の治療に当たり、しかも明宮ご降誕の場において、その後



その証拠として著者は、宗伯の臨床経験集『橘窓書影』の中にある、明治天皇の実母・中山慶子が明治初頭に宗伯を受診して重篤な敗血症から回復したという記述を挙げています。明治天皇の実母が宗伯の臨床能力とその人柄を高く評価したことが『幸運』の始まりであるとしています。

宗伯は1814年、長野県松本市の医家の子に生まれ、江戸で吉益東洞の高弟である中西深齋の子息・鷹山に学びます。大政奉還後に徳川慶喜の侍医となった後、東京で診療所を開きました。

明宮ご降誕に当たって、慶子の父である中山忠能がご養育掛を仰せつけられ、忠能は治療・投薬と養育方法について明治天皇から全権を与えられます。忠能は娘慶子の願いを容れて、洋医の介入を許さ

ず漢方医の宗伯に治療を託します。柳原愛子は明宮懐妊中に、時に失神発作も起こすようなパニック状態になりましたが、宗伯はこの病症を漢方と言う奔豚気病と診断し、治療を施すことよって病状は安定します。4人の皇子・皇女の夭折によるストレス・恐怖心が誘因と思われる。

宗伯は今村亮、岡桐蔭の2人の協力医師とともに、侍医とは別の御匙医として明宮の24時間の治療に当たります。明宮は生まれつき虚弱体質で、咬筋および口輪筋の痙攣が現れ、口を痙攣性に固く閉じた状態が生じたため、金属製の曲頭管を口から押し込む形で、痙攣発作に有効とされる薬液走馬湯の投与を行いました。

宗伯は一連の経過から、明宮の病症は出産時の感染による髄膜炎と断定し、抗菌剤としての雄黄や軽粉を配合した妙効十一丸を用い、これが的中します。妙効十一丸を基本とした投薬と脳脊髄液のドレナージ(排液)の結果、髄膜炎は1年4か月で完治しました。宗伯ら3人は明宮ご降誕以後4歳になるまで、一日も欠かさず交代で当直の任務についています。

B6判、134ページ。あかし出版、1300円+税。

## 寄稿

ライフヒストリーの楽しみ

佐藤 良之 63回

▽はじめに

淡交会という同窓会、会則をみるに、会員の親睦をうたっている。親しい誼、交歓などという意味合いか。人は世代を運んでいる。それ故に同期会はそれなりに集いの大きなまとまりである。アカデミア委員会のライフヒストリー部会は、ライフヒストリーを表現に親睦、交流の場と考えられる。少人数での座談講話という形式で、同窓という世界の人と親しく触れ合うことができる。

66回の方々、笹川孝一委員長、小川伸子副会長、山下忠理事を中心に、会は毎回楽しく、有意義だ。今年3月で計47回を数えた。最近の部会の模様と私の感想を紹介する。▽その1 宇田川雅之さん (70回)

昨年7月に淡交会第11代会長に就任された。自由であれば不安定という命題もあり、また安定は不自由ともいう。自由と不安定、ヘリコプターをその道の専門家でない私が思うに、自由な飛行は、北アールプスの荷物運搬、救難活動等で活躍している。これまで

16件の事故、35人の死亡者を出したとか。

宮崎の航空大学校でパイロットの資格を取得。飛行機の夢はかなわず、東邦航空というヘリコプター会社で、長くパイロットとして業務にあたった。ここ15年、社長として会社の経営管理の任にあるが、ライフヒストリーを紐解くに、少年時代の空への憧れから丁寧話された。

私が大いに感じたのは、彼のヘリコプター人生は「ヘリコプターでしかできない、社会貢献と、いろいろな人々との出会い。お百姓さんから漁師、学校の先生、警察官、医師、消防士、テレビ局のスタッフや歌謡番組制作者、映画監督など、仕事上でそんな人々との出会いができ、自分の幅が広がっていくのを感じていた」と語ったところだ。

所用で伊豆諸島からの帰路、新日本航空の小型機で調布飛行場に降りた時があるが、セスナ、ヘリコプター等が沢山待機しているの思い出す。家庭菜園の鳥唐辛子は八丈のものであるし、懇親会で交わした青耐のはなたれも、森伊蔵、百年の孤独などと比較しようもないカネを出

しても求められない、味わうこと叶わないものである。

日本アルプスの山小屋の主人たちは皆知友であるし、仕事上あるいは私的にも交友は広いことが窺われる。人間である以上、ヒューマンエラーは発生するが、それへの対処、コンプライアンス等人間社会での重要なことにも触れられた。

宇田川さんは、ユニークで豊かなヘリコプター人生を送り、そして彼自身、豊かな人間であることは間違いない。  
▽その2 南野 昌信さん (71回)

ヤクルトレディーの話は措くとして、今回の講話担当者は、研究者の南野博士とヤクルト。私は理系の研究には不案内だが、このヤクルトという乳酸菌飲料は以前から身近なものだ。

ヤクルトは代田博士の乳酸菌の培養と開明的な考えから始まる。エスペラント語の考案はポーランドのザメンコフで1887年の事だ。まだ普及していない昭和の初め、博士はエスペラント語でヨーグルトを意味する「ヤフルト (yahurto)」から「ヤクルト」と命名した。腸内細菌と整腸とヤクルト、薬での対応より事前の免疫の用意。覚えていたる小さな容器と販売方法、普

及方法は、子供から大人まで身近なものである。

さて、南野博士の講話は、高校から東大入学、理学部への変更、ヤクルト入社と研究部門へ。出向先の研究項目と指導先の研究者とのエピソードが語られた。重要なこととして、3点を指摘。

1. 理解ある上司と研究仲間  
に恵まれた。
  2. 自己を信じ、かつ、それを貫く。
  3. チャンスを生かす。
- 質問にも丁寧に答えてくれた。睡眠不足、寝付けない、ヤクルトを飲み続けると虫歯になると聞いたことがある、とか。栄養、睡眠、免疫が健康には必要、砂糖は甘味だけでなく脳にも即効性あるエネルギーです、とのことだ。  
(淡交会理事)

### 三高地蔵の由来調査中です

内田 千晶 72回

「三高地蔵」(写真)の由来について、淡交会結成120周年記念事業の記念誌作成のため、いろいろ調べています。「三高地蔵」は現在、京葉道路側の通用門から入った右側の植え込みに鎮座しています。表面には「……七月六日……」とか江戸時代の元号(のような文字)が記載されているように見えますが、ほとん

ど読めません。小さな社の中に納まっていますが、前には賽銭なのか小銭が散乱しています。小学生や親子連れが受検の合格祈願の為に賽銭を置いていく姿が見られるということ。公立学校とお地蔵様という妙な取り合わせに違和感を感じる人もいます。ですが、だからと言って撤去作業を實行する人はいません。

1. 校舎改修工事の時に旧体育館あたりから出土したものであるという説
2. 旧校舎正門右手の淡交ホールの脇にあったとい



3. 旧校舎入り口前の円形植え込みの中にあつたという説
4. 関東大震災の後、生徒が持ってきたという説
5. 神奈川の大山に遠足に行った時、生徒が運んできたという説
6. 空襲の焼け跡から持ってきたという説

崇りがあるから? 実は百周年記念誌を作成する時も編集に関わっていましたので、当時はまだ30回台卒の方々もいらつしやつて、話を伺ったりました。明確な記憶がある方もなく、「あつたような記憶」とかあいまいなもので調べ切れませんでした。この「三高地蔵」、分からないなりに調べていくと、

1. 校舎改修工事の時に旧体育館あたりから出土したものであるという説  
2. 旧校舎正門右手の淡交ホールの脇にあったとい

少くとも現在の社は校舎改築後に作ったものでしょうから、80回卒以降の会員でこの「三高地蔵」を現在地に設置した方がいたら、是非情報をお寄せいただきたいと思えます。

紙幣鑑別機・真がん判定装置のパイオニア 松村エンジニアリング



会長 松村喜秀

## 善と悪は共存できない

〒111-0052 東京都台東区柳橋二丁目18番4号 株式会社 松村エンジニアリング  
TEL: 03-6858-6611 FAX: 03-6858-6711 <https://www.matsumura-eng.com/>

松村聖津子 (94回)



### あの感動をもう一度！ 「第九」演奏会DVD発売

昨年7月に開催された特別演奏会を記録したDVDが好評発売中です。価格は送料・消費税込みで1枚1,000円と大変お求めやすくなっております。払込用紙同封でお送りいたします。購入申し込みは淡交PORTALからお願い申し上げます。ハガキでも受け付けております。

[送付先のご住所・お名前・卒業回数・電話番号]をご記入の上、淡交会事務局宛にお送りください。



## そば畑の庵 ながら長生庵

庵主 坂本 龍司 (55回)

自家栽培、自家製粉、自家製麺した香り高い蕎麦を枯れ節を使用したキレのあるつゆで満喫できます！

営業 11:00~19:00 千葉県長生郡長柄町山根2009-1 (秋元牧場の向かい側)  
月曜定休 無料送迎バスあり 電話0475-35-0500

## 淡交フィルハーモニー管弦楽団 第73回定期演奏会

日時：2026年8月16日（日）14時開演

会場：タワーホール船堀 大ホール

指揮：藤本 宏行

演奏曲目

カリンニコフ：交響曲第1番ト短調

チャイコフスキー：『くるみ割り人形』組曲 他  
全席自由 1,000円

※最新の情報はホームページよりご確認ください。

【団員（卒業生）を募集しています】

ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス、  
トロンボーン

※その他のパートも若干名募集して  
います。

ホームページよりお問い合わせください。

<https://tanphil.net/>



## 淡交混声合唱団からのお知らせ

★すみだ音楽祭♪♪♪

8月29日（土）13:25～14:10

すみだトリフォニーホール 大ホール

【曲目】アヴェ・ヴェルム・コルプス他

今年は大ホールでパイプオルガン伴奏で  
の演奏を予定しています。

★すみだ合唱祭♪♪♪

9月27日（日）午後

曳舟文化センター マスターホール

【曲目】鴉 夢みたものは

ぜひ、聴きにきてください。

<https://www.tankokonsei.com>



## 評議員会のお知らせ

令和8年度の評議員会を下記の日程で開催します。

なお評議員各位には案内ハガキにてご案内もして  
おります。ご参加頂きますようお願い申し上げます。

淡交会会長 宇田川雅之

1. 日時  
6月27日（土）10時開会 9時30分受付
2. 会場  
亀戸文化センター  
江東区亀戸2-19-1 TEL03-5626-2121  
<https://www.kcf.or.jp/kameido/access/>  
最寄り駅：JR総武線亀戸駅北口徒歩2分
3. 議題  
評議員制度運用改革  
同期会開催の経験交流  
令和8年度の運営
4. 出欠連絡  
右記のQRコードによりご意向を  
ご連絡願います。
5. 留意点  
評議員委嘱後10年経過の方で出欠連絡なき場合は、  
次回からはDMでのご案内は行いませんのでご了解願  
います。  
淡交会報またはWeb淡交PORTALでの告知をご覧  
願います。



出欠連絡用QR

## 第34回東京校歌祭ご案内

日程 令和8年10月18日（日）

開場 12時（予定）

開演 12時30分（予定）

会場 杉並公会堂

JR中央線・地下鉄丸の内線

荻窪駅北口から徒歩7分

参加費 無料

合唱曲 「校歌」

「卒業式の歌」

「早春賦」（予定）

（楽譜を当日お渡しして  
リハーサルを致します）

ご参加のお申し込みは淡交会事務局へ（03-6284-0801）

詳細は淡交PORTAL参照 初めての方のご参加大歓迎！

## TAKEFU ショップ 両国サイト

抗菌・消臭・癒し・肌に優しい奇跡の繊維「竹布」

特別価格をご用意して皆様のおいでをお待ちしております

丸山佐紀子(59 回 旧姓石黒)

墨田区両国 2-19-1 両国ビューホテル 1階 ☎03-6284-0571 来店の際は両国高等学校 OB と一言お願いします



弁護士	公認会計士 税理士
<b>中里 和伸</b>	<b>中里 拓哉</b>
(82回卒)	(85回卒)
東京暁法律事務所	中里会計事務所
東京都中央区銀座7-12-5-6F	東京都中央区銀座1-18-6-4F
<b>☎03-3545-3730</b>	<b>☎03-6228-6555</b>

**大原法律事務所**  
弁護士 **大原 義一** (71回)  
お気軽にご相談下さい。  
〒132-0083 東京都千代田区麹町3-1-8  
メイゾン麹町1002  
TEL (03)3288-1871  
FAX (03)3288-1873  
メールアドレス g-ohara@themis.ocn.ne.jp

## 「領家高子友の会」発足のご案内

早いもので、私たち71回生が母校都立両国高等学校を卒業してから半世紀が経過しました。青春の多感な一時期を共に過ごした仲間がかけがえのない宝である、と心から感じる年齢になった気がします。それぞれの道をそれぞれの生き方で歩んできた相手と自分の内奥を隠すことなく語り合える、これは本当にありがたいことです。

さて、この度我々の同期生で小説家の領家高子（本名・前田貴子）さんが新たな活動をスタートしましたのでご紹介いたします。領家さんは東京都墨田区向島のご出身で、1995年に『夜光盃』で作家デビュー、以来数々の作品を世に送りだされました。私は、薄命の女流作家樋口一葉の姿を史実とフィクションを交えて描き出された『なつ 樋口一葉奇跡の日々』が強く印象に残っています。



領家高子さん

そんな領家さんが2026年の春、宮城県蔵王町に居を移し、東京と宮城の二拠点生活を始められました。その構想をお聴きした時、領家さんがこれまで出会った大勢の方やたくさんの出来事を糧にたどり着いた人生計画であると感じました。その構想には領家高子の純粋で誠実なお人柄があふれており、あたかも若き高校生が体内に具備している一点の曇りもない感性に触れた気がしました。

ご本人は新しい遊び場を二つ作りたいと説明されています。

領家さんのアイデアは二本の柱からできています。一つの柱は「領家高子公式note」上での、デジタル同人誌『空の汀』創刊です。エッセイ、小説、論文、詩、和歌、俳句、写真、絵画、イラスト、漫画などさまざまなジャンルの作品を掲載し、センス・オブ・ワンダーの世界で感動を共有することを目指しています。同人にとってはご自分の作品を、領家さんを窓口にしてより広い世界へ自由に発表できる場であり、さまざまな分野の同人仲間との交流も期待できます。領家さん曰く「私は校正や考証の専門家ではありませんから、ただひたすら丁寧に目を通して、私なりの感想やご助言を述べさせていただきます」とのこと。作家の目が入ると意識しながら書くことで、張り合いも生まれ、書き進めるためのモチベーションが持続するでしょう。

もう一つの柱は、向島の小さな持ち家の活用です。花街のメインストリート見番通り沿いという立地を強みに、昭和の雰囲気そのままにレトロな風情を残してリノベーションするか、新たに建て直すかして活かしたいとこのことで、現在さまざまに方途を検討中です。現代社会は効率と利益の追求が優先されますが、たまには俗世間のしがらみを忘れて自分を見つめ直すことも大切ではないでしょうか。

以上、二つの計画がうまくいくことを願っていますが、領家さん一人の力では思うようにいかない場合もあるでしょう。そこで、有志を募り、領家さんの新たな出発を応援したいと考え、「領家高子友の会」を発足させることといたしました。計画に関心を持たれた方が無理のない範囲で支援をしながら、気持ちの通じる仲間が少しずつ増えていくことを期待しています。領家さんは、何よりも古きよき伝統を愛し大切にしていきたいと考えておられます。また、親しい方々とのコミュニケーションを基盤とした地域の活性化や世代間の連携強化にも深い関心をお持ちです。「領家高子友の会」にご賛同いただける方は、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 【領家高子友の会】

1. 目的：同人誌や向島の小さな一軒家を核としたコミュニティーを通じて、趣味や価値観を共有する方々とのつながりを作り、人生を豊かにする“場”を提供します。
2. 活動の柱
  - 「領家高子公式note」上で：デジタル同人誌『空の汀』、4月と10月の年2回更新、無料公開。
  - 別途、領家高子エッセイ「玄米食日乗」、毎月更新、有料公開。
  - 向島花街のメインストリート見番通りに面した小さな一軒家の活用。
3. 連絡先：ご興味のある方は南野（masanobu-nanno@crux.ocn.ne.jp）または淡交会事務局までご連絡ください。

※詳細と経過報告は「領家高子公式note」をご覧ください。（南野 昌信 71回）

リンク [https://note.com/loyal\\_koala6220](https://note.com/loyal_koala6220)



QRコード

# 年会費納入に引き続きご協力をお願い致します

寿会員になられます53回生の皆様方、長きにわたり淡交会をお支え頂き誠にありがとうございました。

(奨学金基金・ホームステイ支援募金・淡交会への寄付は引き続きご協力をお願い申し上げます)

118回生の皆様におかれましては、5年前のご卒業の際に5年分の年会費を一括して納入頂いておりますが、令和8年度からは先輩方と同じように毎年会費を納入頂きますようお願い申し上げます。

## 〔納入方法〕

年会費は1口2,000円（1口以上何口でも可）、淡交会への寄付金、奨学金、海外ホームステイ支援募金は金額自由です。

- 口座振替           ご指定の金融機関の口座より年1回6月6日に自動引落し致します。  
口座振替をご希望の方は事務局また淡交PORTAL内の「お問い合わせ」よりお申込みください。  
必要書類をお送り致します。（淡交会：03-6284-0801）
- 払込取扱票       会報の宛名台紙に印刷されている払込票をご利用ください。  
数年分まとめて納入頂く場合は該当欄にその旨をご記入ください。  
ご記入のない場合は当年度分の会費としてお受け致します。
- 金融機関への振込   下記の口座へお振込みの上、淡交PORTAL内の「お問い合わせ」より  
振込内容をお知らせ願います。



淡交PORTAL

## 〔振込先〕

- ゆうちょ銀行       郵便振替：00180-4-34200 淡交会  
他の金融機関からの振込口座番号 店番019 当座預金0034200 淡交会
- 三菱UFJ銀行       本所中央支店：(普) 0514401 淡交会

★口数制度導入により、既にその年度分を納めている方にも払込取扱票が封入されます。何卒ご了承ください。

## 〔年会費免除の方〕

- \* 学校職員の方（現・旧）
- \* 寿会員の方（53回生までの皆様です）
- \* 卒業時に5年前前納済の方（今年度は119～123回生の方）

R 8.3.31 現在

## 各回別令和7年度分会費納入状況（率）

金額単位（千円）

卒回	会員数	連絡可能数	R7年度納入金額	納入人数 (うち1口超の方)	納入率	卒回	会員数	連絡可能数	R7年度納入金額	納入人数 (うち1口超の方)	納入率	卒回	会員数	連絡可能数	R7年度納入金額	納入人数 (うち1口超の方)	納入率
53	416	158	72	32 (4)	20.3%	75	408	266	134	58 (9)	21.8%	97	318	166	10	5	3.0%
54	416	193	82	24 (11)	12.4%	76	404	236	120	52 (8)	22.0%	98	330	185	14	7	3.8%
55	398	180	172	70 (9)	38.9%	77	404	242	78	31 (7)	12.8%	99	338	181	20	9 (1)	5.0%
56	393	188	106	46 (7)	24.5%	78	408	252	113	47 (9)	18.7%	100	322	176	26	9 (4)	5.1%
57	410	192	116	49 (8)	25.5%	79	415	254	96	37 (7)	14.6%	101	309	166	4	2	1.2%
58	416	224	128	48 (12)	21.4%	80	422	278	88	37 (7)	13.3%	102	322	182	14	7	3.8%
59	409	224	164	40 (13)	17.9%	81	424	223	48	22 (2)	9.9%	103	323	202	16	6 (2)	3.0%
60	402	207	136	56 (11)	27.1%	82	399	225	112	43 (9)	19.1%	104	325	179	4	2	1.1%
61	406	201	116	46 (9)	22.9%	83	478	254	122	50 (11)	19.7%	105	275	161	14	6 (1)	3.7%
62	439	258	189	68 (21)	26.4%	84	433	216	58	27 (2)	12.5%	106	200	126	2	1	0.8%
63	468	286	175	69 (16)	24.1%	85	427	225	56	24 (3)	10.7%	107	201	136	15	6 (2)	4.4%
64	471	295	200	83 (16)	28.1%	86	485	255	48	21 (3)	8.2%	108	199	138	18	9	6.5%
65	468	244	167	70 (13)	28.7%	87	428	254	76	27 (7)	10.6%	109	202	139	10	4 (1)	2.9%
66	458	261	202	80 (18)	30.7%	88	431	231	53	21 (5)	9.1%	110	196	135	14	6 (1)	4.4%
67	446	289	158	65 (14)	22.5%	89	457	240	48	21 (2)	8.8%	111	191	142	2	1	0.7%
68	438	228	120	47 (9)	20.6%	90	404	229	87	35 (5)	15.3%	112	191	138	10	5	3.6%
69	426	231	114	46 (10)	19.9%	91	392	188	26	13	6.9%	113	196	154	6	3	1.9%
70	430	304	276	63 (22)	20.7%	92	397	188	40	17 (2)	9.0%	114	186	140	14	4	2.9%
71	430	256	168	56 (18)	21.9%	93	386	199	24	12	6.0%	115	188	165	6	3	1.8%
72	405	283	198	81 (18)	28.6%	94	346	175	36	17 (1)	9.7%	116	194	150	4	2	1.3%
73	407	256	188	78 (16)	30.5%	95	323	170	24	11 (1)	6.5%	117	193	134	6	3	2.2%
74	407	295	178	67 (12)	22.7%	96	321	183	36	16 (2)	8.7%	合計	23,550	13,531	5,177	2,023 (403)	15.0%

※52回以前の回は免除、118回～122回生の方は卒業時に5年分納入済みとなっておりますので表に載せておりません。ご了承ください。口座振替で納入頂いている方は993名です。◇会員数…退会者除く ◇連絡可能数…物故・住所不明・DM不要・海外在住者除く  
※納入率は「納入人数」と「連絡可能数」の割合です。



2026年(令和8年)5月27日発行

発行者

〒130-0022

東京都墨田区江東橋1-7-14

東京都立両国高等学校内淡交会

編集兼発行人 宇田川 雅之

☎03-6284-0801 FAX03-5600-8473

<https://tankou-portal.jp/>

E-mail:[tankouportal@gmail.com](mailto:tankouportal@gmail.com)

# Colonial Style Wedding

“お二人”とゲストとスタッフが“ウェディング”という時間を共有する空間

## ウェディング&パーティー受付中



Regalo  
レガール



Casa  
カーサ



Cielo  
シエロ



Chapel Grande Oración  
グランデ・オラシオン

透き通るような白を基調とし、凛とした透明感のある清楚なチャペル。  
アーチを描いた天井高は10.5m。  
厳かな気分を感じさせる大理石のバージンロードは14m。  
やわらかな自然光が降り注ぐ中、  
パイプオルガンとグランドハーブの音色がおふたりを祝福します。

Anfelición

アンフェリシオン

1-43-22, Kameido, Koto-ku, Tokyo 〒136-0071

TEL 03-5836-5111

Open 9:00 Close 20:00 <http://www.anfelicion.jp>

第52期卒業 会長 小泉宗孝